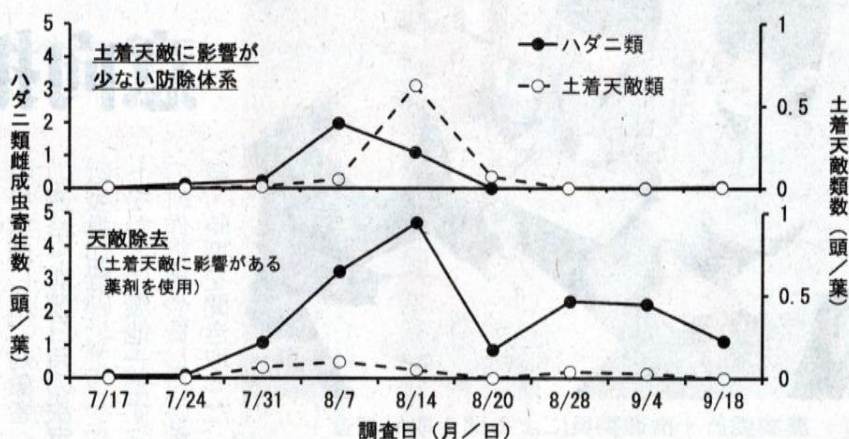


イチゴ 育苗期からのハダニ対策

土着天敵に影響少ない農薬有効

図 ハダニ類に対する土着天敵の効果



現場で使える！

研究成果



ハダニ類の土着天敵 (ハダニアザミウマ)

イチゴの生産現場ではハダニ類の発生が大きな問題となっている。本圃期では天敵農薬のカブリダニ類を利用した防除体系が普及しつつあるが、防除効果を高めるためには育苗期からハダニ類の発生を抑え、本圃に持ち込まないようにする必要がある。

そこで、野外に広く生

息しているハダニアザミウマ、ハダニタマバエなどの土着天敵を有効活用するため、土着天敵に影響が少ない化学農薬を使用した防除体系を検討した。

その結果、土着天敵に強い影響がある化学農薬を用いた防除では土着天敵の発生が少なく、ハダニ類の密度を抑えることができなかった。図下段。しかし、土着天敵を保護するため、影響が少ない化学農薬を使用した防除を行うと、土着天敵の増加により殺ダニ剤の散布しなくてもハダニ類の密度が抑制されることが明らかとなった。図上

段。

なお、本試験では天敵に影響が少ない農薬として、アブラムシに対してチェス顆粒水和剤、コルト顆粒水和剤、チョウ目

に対してフェニックス顆粒水和剤・BT剤、ヒメヨコバイに対してモスピラン顆粒水溶剤などを使用した。

(農林技術開発センター)